

静岡県新文化施設運営準備業務委託の評価基準

プロポーザル審査は、企画提案書、見積書等の関係書類及び出席者からの説明等について、以下の評価基準に基づき実施する。

	審査項目	審査の視点	配点	点数
事業者	1 業務実績	平成 25 年 4 月以降の国又は地方公共団体等が発注した同種業務の実績 ・ PFI による事業手法（コンセッション方式）に係る事業者公募条件の設定や PFI 法に基づく諸手続、必要な書類の作成等の支援をを目的とした業務を元請として受注し、完了した実績があるか	10	
	2 実施体制	・ 本業務を円滑に遂行できる実施体制や管理・支援体制が築されているか	10	
業務担当者	3 業務担当者	・ 業務担当者は十分な経験と知識を有しているか ・ 業務担当者は本業務の目的、内容を正しく理解しているか ・ 業務担当者の手持ち業務量が適正か（専任性が高いか）	10	
実施計画・実施方針	4 業務理解度	・ 目的、内容の理解度が高いか ・ 現地の現状及び事業の制約となる条件やポイントの理解度が高いか	20	
	5 実施手順	・ 業務実施手順を示すフロー図の妥当性及び業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高いか ・ 業務実施上の問題点や課題等に対する対応方針の実現性が高いか ・ その他業務実施上の創意工夫があるか	20	
特定テーマ	6 テーマ① 事業の具体性	・ 条例作成、実施方針作成、事業者募集、選定等の業務の支援をするに当たり、「静岡県新文化施設（旧ヴァンジ彫刻庭園美術館）利活用基本計画」を踏まえた事業内容を、いかにして具体化していくのか、内容が優れているか	20	
	7 テーマ② 収益性	・ コンセッション方式の導入において、いかにして事業者の創意工夫を最大限に引き出し、収益性や運営対価の高い提案が生まれやすく、かつ本県の財政負担の軽減につながる事業者を選定するのか、考え方や実施方法が優れているか	20	
	8 テーマ③ 地域連携	・ 立地エリアの特性等を踏まえた対象施設の付加価値を向上させるための考え方が優れているか ・ 県東部・伊豆地域の文化施設等との連携を進めるための考え方が優れているか	20	
	合計		130	